学校番号	3033

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「古典探究　古文編」「古典探究　漢文編」　（数研出版）						
副教材等	最新国語便覧（浜島書店），古文単語覚えるぞ 321（尚文出版），明快古典文法（いいづな書店），精選漢文（尚文出版），錬成古典（古文・漢文）（尚文出版），「共通テスト＋センター試験国語過去問題」（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・長い歴史の中で綿々と受け継がれていた古典を読むことは、日本文化について学び、伝統を受け継ぎ、グローバルな世界で主体的に生きるための基礎的な素養を身につけることにつながります。「古典探究」ではさまざまな文章を読むことを通して、人間、社会、自然などに対する視野を広げ、考えを深め、発展させていきます。
・文章を正確に理解できるよう、語彙力や文法、句法の基礎知識を修得していきましょう。そのために、必ず予習をして主体的な姿勢で授業に臨み、授業の後には内容を振り返って復習してください。
・古文や漢文を正確に理解できるよう、語彙力や文法、句法の基礎知識を修得してください。授業には必ず辞書、単語帳、文法書を持参し、適宜調べるようにしましょう。
・各自で学習計画を立てて、定期考査に臨んでください。
・授業で扱った作品の異なる章段や、同じジャンルの作品、関心を持ったテーマについて主体的に調べたり、関連本を読んだりするなどして考えを深め、思考したことがらを的確な言葉で表現する力を身につけることに努めていきましょう。読書を通じて、自らの思考が深まり、新たな世界が開かれる喜びも味わってほしいと考えています。本校の図書館も大いに活用してください。

2　学習の到達目標

⑴古典（古文・漢文）を正確に読む基礎的な能力を養うとともに、すぐれた作品の読解を通じて、古典についての理解や関心を深める。
⑵伝統的な文化として受け継がれてきた、ものの見方、感じ方、考え方に触れることによって、人生を豊かにする態度を育てる。
⑶古典を中心とした文化としての言語、多様な言語芸術や芸能などの価値を理解したり尊重したりすることにとどまることなく、自らが我が国の言語文化を継承、発展させていく担い手であることへの自覚を持つ。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
	古文編① ・日記における和歌を用いた表現の特色について理解する。 ・作者の境遇についての認識を深め、心情を読み取る。 ［教材］ 蜻蛉日記(うつろひたる菊／鷹)	a：古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b[読]：必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 c：日記に興味をもち、『蜻蛉日記』の特色について理解を深めようとしている。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題
	古文編② ・日記における和歌を用いた表現の特色について理解する。 ・作者の境遇についての認識を深め、心情を読み取る。 ［教材］ 和泉式部日記(薫る香に)	a：古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b[読]：必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 c：日記に興味をもち、和歌をめぐる文章の構成や表現の特色について理解を深めようとしている。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題
	古文編③ ・登場人物の言動や心中思惟を的確にとらえ、人物造型を把握する。 ・引歌表現や歌ことば・歌の修辞の効果について理解する。 ［教材］ 源氏物語(須磨／柏木と女三の宮／紫の上の死)	a：古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。また、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 b[読]：文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確にとらえている。また、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結びつけ、考えを広げたり深めたりしている。 c：平安時代の貴族文化をふまえて、登場人物の境遇や心情を理解しようとしている。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題
	漢文編① ・『史記』の文章に親しみ、司馬遷の描写力の見事さを鑑賞する。 ・登場人物の描かれ方を考察し、巧みに描き分けられているそれぞれの人柄を的確に把握し、その心情や正確について理解を深める。 ・伝記の読解を通じて、そこに示されている人間観や歴史観を知り、人生や運命について考えを深める。 ［教材］ 荊軻(風蕭蕭として易水寒し／図窮まりて匕首見る)	a：・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。 b[読]：・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 c：司馬遷の歴史観や人間観を理解し、歴史や人間についての考えを深めようとしている。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題

	漢文編② ・著名な逸話を読み、内容の面白さを味わう ［教材］ 人面桃花	a: 著名な逸話について興味を持ち、内容の面白さを味わおうとしている。 b[読]:場面の状況や人物の心理を正確にとらえ、理解している。 c:重要な語句や句法について理解し、文脈を正確にとらえることができている。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題
	古文編④ ・機知に富んだ作品の面白さを理解する。 ［教材］ 枕草子(二月つごもりごろに／宮に初めて参りたるころ)	a:筆者の美意識や平安朝の宮廷生活を理解しようとしている。 b[読]:典型的な古文の読解を通じて、作者の感性を理解し、機知に富んだ作品のおもしろさを理解している。 c:古語や文法事項に習熟する。また、当時の習俗や文化的環境、引用されている漢文の知識についても理解を深めている。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題
	古文編⑤ ・歴史物語の特色を理解する ［教材］ 大鏡(道長の剛胆／三船の才)	a:歴史物語に親しみ、その特色を理解しようとしている。 b[読]: 登場人物の人間関係を理解し、その行動と心情を読み取っている。 c:古語や文法事項に習熟する。また、当時の習俗や文化的環境について理解を深めている。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題
	問題演習 「共通テスト＋センター試験国語過去問題」	a:文脈の中での語彙の意味の理解や、文章読解に必要な知識の定着ができている。 b[読]:文章や資料の内容を総合的に理解し、出題者の設問の意図に即した、正確な読み取りができている。 c:自身の進路を見据え積極的に取り組んでいる。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　　）時間

・読むこと　…　（　７５　）時間